

平成２７年度第４回瀬戸市環境審議会 議事録		
日 時	平成２８年２月２４日（水） 午前９時００分～１０時０７分	
場 所	瀬戸市役所 ４階 大会議室	
出席者	審議会委員	出席 １１名 千頭聡会長、青山清敏委員、市川春代委員、 稲垣登美一委員、川瀬秀之委員、蔵治光一郎委員、 戸田千里委員、服部富久美委員、平出正孝委員、 水嶋俊司委員、山田辰巳委員 欠席 ３名 高野雅夫副会長、石川良文委員、山口圭介委員
	事 務 局	須々木久修市民生活部長 瀬戸市市民生活部環境課 上田喜久課長、中桐淳美課長補佐兼環境保全係長、 久野秀幸ごみ減量係長、奥田健二環境保全係主事
次 第	内 容	
１ 開会	○開会の言葉	
事務局	○会議成立の報告 ○資料確認	
事務局	○挨拶	
２ 議事	以下のとおり。	
議事(１)	第２次瀬戸市環境基本計画中間評価書（案）について	
事務局	○資料の確認 ○資料１－１「第２次瀬戸市環境基本計画中間評価書（案）概要版」、資料 １－２「第２次瀬戸市環境基本計画中間評価書（案）」、資料１－３「縦覧 及び意見募集実施結果について」、資料１－４「中間評価結果を踏まえた 今後の取組みについて」に基づいて、内容説明を行なった。	
会長	・本日欠席の委員から意見が出されているので事務局から紹介する。	
事務局	・資料１－２のＰ７「自然との親しみを感じている市民の割合」の評価につ いて、「目標に達していないため、達成に向けて、各種取組みや環境整備 のさらなる展開が必要である。」としてはどうかとの意見が出された。	
会長	・欠席委員の意見も含めて、何かあれば。議論するのは今日が最後となる。	
委員	・資料１－２のＰ１の写真は文化課の窯跡現地説明会の写真ではないか。	
事務局	・文化課職員が写ってはいるが、せと・まるっと環境クラブのタウンウォッ チングの写真である。	
会長	・キャプションを付けた方がよいのではないか。	
委員	・資料１－１について、３.１.の「観光資源」と３.２.「自然観光資源」との用 語の使い分けは何か。	
事務局	・中間評価書作成にあたっては、この用語に限らず、計画書の用語を踏ま えた表現をしている。計画策定時の意図までは確認していない。	

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・3.1.の方は、いろいろある観光資源のひとつとして活用を図るという意図で、3.2.の方は岩屋堂など自然観光資源というそこに特定したものだから活用するという考えで表現していると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1－2のP17のスケジュールの下から3つ目の矢印にある「観光資源としての情報活用」とあるように、3.1.の「観光資源などへ」となっているのを「観光資源として」とすれば多分整合すると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉を少し変えれば必ずしも「自然観光資源」という言葉を使わなくてもいいかもしれないが、そう変わらないかなとも思う。5年前の計画策定時のつめが甘かったのが今はっきりしたかもしれない。 ・計画書の表現をできるだけ尊重したことによるという事務局の説明について、どうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・意識的に使い分けしているなら問題はない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局発言のとおり「観光資源」は広く言っているとは思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、瀬戸の自然環境は「観光資源」として見なされていなかったんだと思う。それを新たに観光資源のひとつとしてみなしていこうというのが3.1.で、3.2.はそれが終わった後「自然観光資源」ができるからというのにつながっていく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・広い意味で「観光資源」として活かすことで守っていけるという趣旨だと思う。よろしいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P7についての石川委員の意見も、確かに本来数値が上がってはいなくてはならないが下がっているので、「さらなる環境整備が必要」と修正することでよいか。
全委員	<意見なし>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・他はよいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P8の「施策の展開」に交通機関の充実などと書かれているが、その内容について、予算的な裏付けあつての文章なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の審議会で少し説明したとおり、中間評価書の構成は、基本方針、リーディングプロジェクトの各1ページ目を計画書の該当部分を抜粋するかたちにしており、評価書のP8は計画書のP39・P40に書かれているそのままの内容である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に意識して書かれたわけではないということで理解した。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、公共施設維持管理計画などの策定をすすめており、今後決まってくることもあると思うが、今は確定していないので、計画書にあるとおり書いてある。今後、総合計画や公共輸送計画等が決まれば、計画書の表現を変えていくことについて議論にのぼることもあるかもしれない。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・はい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの写真の説明についてはどうされるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・キャプションを入れていきたいと考えている。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で、中間評価書（案）についてはよい。 ・誤字脱字も一応確認してもらっていると思う。 ・資料１－４の「今後の取組みについて」のところで、今回の見直しを受けて力を入れていくべきところをまとめているので、全体として了解をもらえるなら、実際の事業の中で皆様の協力を得ながらすすめることができればよいと思う。
全委員	<意見なし>
会長	・全体としては了解していただいたということにする。
議事(2)	瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定について
事務局	<p>○資料２－１「平成２７年度瀬戸市自然環境の保護及び保全特定地区候補地選定委員会による選定候補地」、資料２－２地図、資料２－３「特定地区の指定及びガイドラインの決定までの手順」に基づいて、内容説明を行った。</p> <p>※資料２－１、２－２、２－３は当日配布、審議会終了後回収</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・１点だけ補足として、資料２－１の表にある４ヶ所は、文献等から選ばれた約３０の候補地の中から委員会が絞り込んだもので、いずれも委員会では現地を確認している。 ・それぞれ保護・保全の上で大事な要件があるのと、同時に土地の所有の問題や法的な規制の条件等、勘案しなくてはならないことがあり、現在、状況確認をしているところである。 ・何か補足事項等あれば。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護」と「保全」の違いについてわかりづらいので補足すると、「保護」は、人が手をかけないで自然のなすままとするのが最適の対策とするもので、「保全」は自然に起きてしまう環境の変化を人為的に止めてその環境を維持するやり方をいう。条例ではこの２つをきちんと分けて考えており、資料２－１の表の候補地も保護中心と保全中心とに区別してある。 ・富士湿地エリアと掛川小学校周辺エリアの委員選定理由に「遷移を懸念する」とあるが、富士湿地エリアはそれほど緊急性は要していない。掛川小学校周辺エリアの方が緊急性が高く非常に懸念される。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料２－３で指定までの手順を確認すると、今年度に候補地は選定できたが、条例に基づく特定地区にすぐに指定できるわけではなく、まだこれから平成２８年度に詳細な現地の調査等が必要となる。土地の所有関係や法的な規制等を調整して、平成３０年度に正式に発表し、意見を聞いて平成３１年度に決定することになる。まだ先にやらなくてはならないことが沢山ある。 ・候補地を同じレベルで指定できるわけではなく、ある程度の優先順位をつけることになる。委員の補足説明にもあったが、緊急性の高いものから詳細な調査をやらざるをえない。 ・最後は市長が決めることであるが、ある程度絞り込むところまで今年度できた。
会長	・質問等あれば。

委員	・オオサンショウウオは何匹いるのか、科学的にどういうことをするのか、現場でいろいろ細かい調査をするという理解でよいか。
会長	・1年かけて詳細な調査をやっていくことになると思う。
委員	・掛川のあたりはすごく木が大きくなってきている。陽がかげって周辺環境が厳しくなっているが、保全という伐採等どこまでやらせてもらえるのか、できるのか、市がどこまで援助してくれるのか。
会長	・今の段階で答えられることを事務局から説明する。
事務局	・保全の方法や予算のかけ方についても、まずは詳細調査を行い、ガイドライン案を作成して、エリアに対して適切な保全方法を2年間かけて決めていく。その中で市民と行政の役割を示していきたいと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ある段階でどういう姿を保全の目標とするかの議論をきちんとした上でないといけない。結構難しい議論となる。 ・平成28年度の調査を受けつつ、平成29年度のところではかなり議論しなくてはならない。 ・今年度は候補地を絞り込むための委員会を作ったが、来年度は実際に特定地区の候補地で詳細調査を実施するための委員会を設置する。 ・以上について、よろしいか。
委員	・はい。
会長	・他に質問はあるか。
委員	・候補地の中に民有地があるが、選定された場合は、所有者はどういう括りになるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・特定地区に指定する前に、所有者とその周辺の利害関係者から意見をもらい調整するしくみになっている。 ・条例上、例えば木を伐採するときには届出が必要になる。
委員	・所有者が自分の土地に関して勝手に手がつけられなくなるということ。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・特別地区の指定にあたって所有者の同意が正式に必要なかどうかも含めて多分議論があると思う。 ・審議会で詳細な報告ができないのが候補地選定委員会としては歯がゆいところもある。残念なことだが、詳細な情報を出すと希少種の盗掘につながっているのも事実なので、理解をお願いする。 ・状況は理解したということでよいか。
全委員	〈意見なし〉
会長	・資料2-3に次年度以降審議会という言葉はないが、実際にはこの審議会に報告していくことになると思うが、そのあたりはどうか。
事務局	・環境基本計画の一部でもあるので、必要に応じて環境審議会に意見等諮っていくことになる。
会長	・よろしいか。
全委員	〈意見なし〉
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・議事は以上の2件で終了する。 ・その他に移り、事務局から連絡事項を説明する。

3 その他	○委員への連絡事項
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバー制度導入に伴う書類の提出 ・委員任期満了に伴う更新手続き ・「岩屋堂ガイドブック」の発行・販売の案内 ・委員異動に伴う「東大演習林生態水文学研究所関係者交流会」開催の案内以上、4件について説明を行った。
会長	・委員、一言あいさつをどうぞ。
委員	<p>・2003年に着任し13年になるが、1年後に現環境基本計画の策定に一市民として参加を申し出て、以来、生みの親の気持ちで計画の進行を気に掛けてきた。せと環境塾は実は私が提案した経緯があり、今回の見直しの中でずいぶん指摘をされた中で退任するのは心苦しい面もあるが、これからの5年間で計画どおり着々と進行して目標に少しでも近づければと思う。語りたいことは沢山あるので、関係者交流会にぜひ出席してもらいいろいろ話ができればと思う。今までありがとうございました。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・本日の審議会は以上で終了する。
4 閉会	○閉会の言葉